

## 第1学年 道徳科（人権）学習指導案

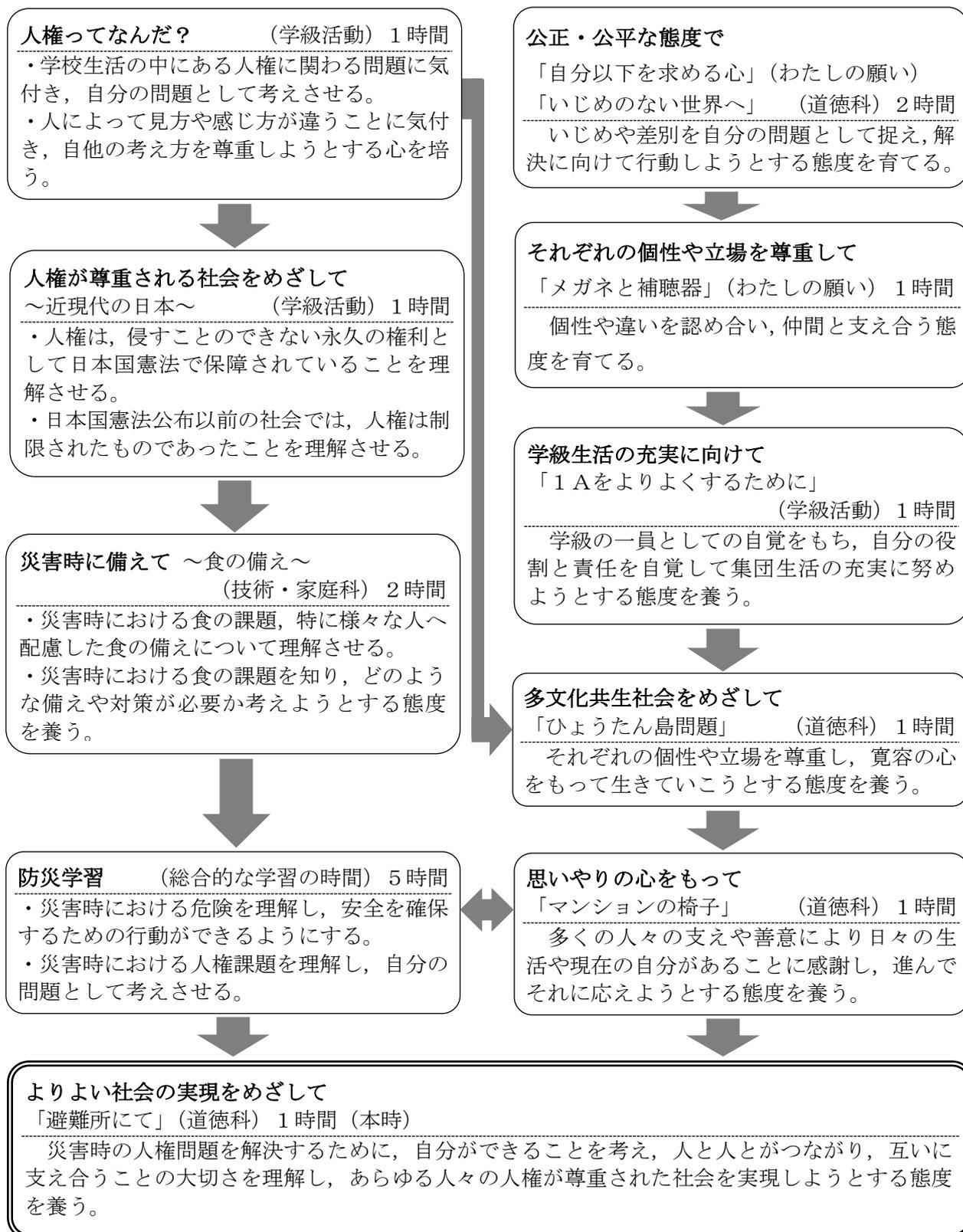
1 主 題 共に生きる

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

人と人がつながり、互いに支え合うことの大切さを理解し、あらゆる人々の人権が尊重された社会を実現しようとする態度を養う。

4 指導計画



## 5 本時の学習

### (1) 目標

災害発生時に起こりうる人権問題を解決する意欲を高めるとともに、地域社会の一員として主体的にすべての人の人権が尊重された社会を実現しようとする態度を養う。

ねらいとする道徳的価値	C - (12) 社会参画, 公共の精神
-------------	----------------------

### (2) 普遍的な学習のテーマ 共生

個人人権課題名 災害時における人権問題

### (3) 展開

学 習 活 動	指導上の留意点
<p>1 写真を見て思ったことを自由に発表する。</p> <p>2 「私」たち三人の気持ちを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ小学校に居づらくなってその場を離れたのか。</li> <li>・どのような思いで貼り紙を作ったのか。</li> </ul>	<p>○中学生が震災ボランティアを行っている写真を提示し、本時の学習の方向付けをする。</p> <p>○個々に読んでいる教材について、あらすじを確認する。</p> <p>○周囲の生徒と話し合う時間を設定し、積極的に意見交換ができるように支援する。</p> <p>○「私」たち三人が、災害からの復興を人任せにしていると気付いたことを理解させる。</p> <p>○「私」たち三人が抱いた、地域のために貢献したいという思いに共感させる。 ①③</p>
<p>災害が発生したとき、地域社会の一員として今の自分にはどのようなことができるだろう。</p>	
<p>3 災害時において、互いの人権を大切にするために、地域社会の一員として今の自分にはどのようなことができるか考える。</p> <p>4 学習を振り返り、これからの自分の生き方について考える。</p>	<p>○子ども、高齢者、障がいのある人、外国人などが災害時要援護者になりやすいことを確認し、積極的な支援が必要であることを理解させる。</p> <p>○具体的な生活の場面を想定し、自分ができることを考えさせ、発表させる。 ②③</p> <p>○学んだことや考えたことをまとめさせ、自分自身の生き方にどうつなげていくのか、考えさせる。 ②③</p>

### (4) 評価

- ・災害時においては、様々な人権問題が起こりうることや、その人権問題の解決のためには一人一人の協力が必要であることを理解できたか。 【知識的側面】①
- ・災害時に起こりうる人権問題を自分自身の問題として捉え、人権が尊重された社会を実現するためにどのように生きていくか考えることができたか。 【価値的・態度的側面】②
- ・他者の意見を受け止めるとともに、自分の考えを表現することができたか。 【技能的側面】③